

関係団体等との意見交換会、未来共創セッション等 で頂いた主なご意見

主なご意見 ①

政策分野01 こども・子育て

- 子育て世帯は全世帯の2割程度と少数派のため、「こどもまんなか社会」の意義や具体的なイメージを県民全体で共有していくことが重要。
- 「こどもまんなか社会」の実現には、縦割りでなく、部局横断で課題を掘り起こし取り組むことが重要。
- 結婚や出産が安心してできるよう、結婚の希望を叶える支援や産後の支援、不妊治療の情報提供など、多様なニーズに対応した取り組みが必要。
- 子育てに関する相談内容を関係機関で共有し、密接に連携しながら、個々のケースに応じたきめ細やかな支援ができる体制の充実・強化が必要。
- ひとり親家庭を支援する際は、就業支援や直接的な経済支援が重要ではないか。

政策分野02 教育

- 課題解決に向け、自分で考え、自ら取り組む力を身につけることは、こどもたち自身のウェルビーイング向上に直結する大切なこと。
- 学習障害で書字困難のため、学びたくても学べないこどもがおり、「こどもまんなか」の視点から、タブレットを活用した学習の促進や、そのための教員の指導技術を高めることが必要。
- 県内においても外国人材が増加しており、そのこどもたちが取り残されない教育環境が必要。
- こどもの将来の可能性や希望に応じた学びの場の選択肢を増やすことや、時代に応じた魅力的なカリキュラムを準備することが重要。
- 質の高い教員を育成・確保するためには、ベテラン教師が若手にノウハウを伝授する時間の確保が大事。

主なご意見 ②

政策分野03 文化・スポーツ

- 小中学生が芸術文化に親しむ機会が減少しており、こどもたちがアートに触れる機会の確保が必要。
- 歴史や文化など地域の魅力を知り、ふるさとへの愛着や誇りを醸成するためには、こどもの頃からの郷土教育やふるさと教育が必要。
- こどもたちがスポーツに親しめるよう、外部人材や地域コミュニティとの連携が必要。
- 地元のプロスポーツチームの選手が地域のジュニア育成・強化に関わることで、競技力の向上や地域スポーツの盛り上がりにつながるのではないか。
- 障害の有無や年齢に関係なく、誰もが使いやすいよう、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化が必要。

政策分野04 健康・医療・福祉

- 高齢者救急医療をそれぞれの医療機関でどう役割分担すべきかを含め、現場の医療状況を考慮した体制作りが必要。
- 在宅医療の充実に欠かせない訪問看護師の育成・確保、資質向上に向けた施策を盛り込むべきではないか。
- 重度障害者が地域で暮らせるようサービスのさらなる充実が必要。
- 障害者の能力に着目し、その人らしく輝いて生きられる社会づくりが重要。
- 介護人材の育成・確保に向け、幼少期から障害者や高齢者との触れ合いや福祉の重要性を学べる機会を設けることが必要。

主なご意見 ③

政策分野05 スタートアップ

- 「スタートアップ」を広く捉え、スタートアップで起業する人だけでなく、企業内で新しい事業を起こす人、先端テクノロジーを活用しチャレンジする人も応援することで、起業家精神を持つ若者の拡がりに繋げていくべきでないか。
- 企業内での技術者の潜在力を引き出し、新規事業やベンチャー活動を支援することが必要。
- 県の海外研修は起業を志す学生等に大きな刺激を与えており、若者の起業家マインドの醸成に向け、研修やビジネスコンテストなど実践的な教育が必要。
- スタートアップが提供するサービスと他企業をつなぐマッチングの場の提供など起業家を育成するサポート体制を整え、富山で活動するメリットを感じてもらうことが重要。
- 起業時だけでなく、起業後の支援も必要であり、産官学が連携した支援体制が必要。

政策分野06 人材活躍・共生

- 多様性を認め合う社会にするには、若者や女性に選ばれるような、職場と地域の環境づくりが必要。
- 元気な高齢者が知識や経験を活かし社会貢献できる場や機会を創出することが必要。
- 移住者の生活は、住む地域だけでなく、市町村をまたいで広域にわたるため、移住促進を図るには、市町村の横の連携を図るべきではないか。
- 移住に関する支援制度があまり知られていないので、必要な人に必要な情報を届けることが重要。
- 外国人が孤立せず、地域の人と一緒に安心して生活していけるような環境づくりが重要。

主なご意見 ④

政策分野07 インフラ・県土強靱化

- 地域防災力を向上させるため、10年後には全ての自主防災組織が地区防災計画を策定し、実践的な避難訓練等が行われている状態を目指すべきではないか。
- 若い世代をはじめ県民が、防災における「共助」、ご近所同士で助け合う「近助」の大切さを理解し、平時から備えていくことが必要。
- 老朽化した公共インフラの更新や防災機能の強化に優先順位をつけ、計画的に対応していくことが必要。
- 建設業は、県民の生命や財産を守り、社会を支え、やりがいや誇りを持てる仕事であり、その魅力の発信や人材が集まる職場づくりが必要。
- 高齢者の特殊詐欺被害等が増加しており、消費者教育や相談体制の充実など、被害防止対策の強化が必要。

政策分野08 まちづくり・交通

- 多様な人材がまちづくりに参画し、まちの魅力や活性化につなげるためには、若者や女性、移住者等が馴染みやすい、受け入れてもらえると感じられる雰囲気づくりが必要。
- まちづくり、地域づくりにおいては、そこに暮らす人々の意識やつながりといった「人づくり」が重要。
- 富山県は県土の7割が中山間地域であり、中山間地域の振興という視点が重要。
- 公共交通をスポーツ観戦や演劇鑑賞等と結びつけることで、利用機会が増え利用拡大につながるのではないかと。
- 運転免許を返納した高齢者や、若い人たちからの公共交通の利便性を求める声に対応することが必要。
- 観光客が二次交通としてバスを利用しやすいよう、路線案内をシンプルにした方がよいのではないかと。

主なご意見 ⑤

政策分野09 農林水産

- 農業の担い手確保には、カッコいい、稼げるなど、農業を魅力ある産業としてPRすることが必要。
- 若者が農業に触れる機会が減少したことで、農業への関心が薄れてきており、こどもの頃からの体験機会の確保・拡大が必要。
- 農業に魅力を感じている若者を、新規就農者につなげる育成・指導体制の充実・強化が必要。
- 農業とDX・AI技術を掛け合わせることで、農家にとっては生産性や収益性の向上、DX人材にとっては新たなビジネスチャンスにつながるのではないかな。
- 地域企業との交流を通じて、地産地消や農福連携、農業のスポットワーカーの確保等につなげていくことが必要。

政策分野10 産業・GX

- 富山県のヘルスケア産業を、製薬業や健康産業、健康食品など、すそ野の広い取組みとしていくべきではないかな。
- 富山の豊かな水資源を生かして半導体工場の誘致を検討すべきではないかな。
- 中小企業におけるAI活用等を促進し、生産性向上や新しいビジネスチャンスを生み出すため、経営者や従業員向けの社会人教育や再教育が必要。
- 富山大学や県立大学が中心となり、産学官が一体になった社会人向けのスキルアップ、リスキリング教育の仕組みづくりが必要。
- 医薬品業界では生産性の向上に向けDX化を進めているが、更なる支援が必要。

主なご意見 ⑥

政策分野11 観光

- 観光消費額の増加には、夜間にも地域の魅力や文化に触れ体験できるようにし、滞在時間を延ばす工夫が必要。
- 他の自治体も訪日外国人の誘客に注力するなか、富山県はリピーターの誘客に戦略的に取り組むことが必要。
- 富裕層誘客に向け、ハイスペックなホテルも必要だが、高級感だけではなく、現地の生活や体験、食を求める声もあり、多様なニーズに応えることが必要。
- 県内の様々な魅力的な観光資源をうまく繋ぎ合わせることで、県全体の魅力をさらに向上させることができるのではないか。
- 「暮らし自体が持つ魅力」の一つが伝統的な祭りであり、地域住民のコンセンサスを得て、誘客のために祭りを盛り上げていくことが重要。

政策分野12 環境

- カーボンニュートラルなど、富山が先進県としてリードしていくという強い決意を示すことが必要。
- 循環型社会の実現に向け、分別回収やリサイクルを推進する「富山モデル」のような施策を検討することが必要。
- 豊かな生物多様性は、大気や水、食料をもたらし、文化や伝統、自然観の形成などにも欠かすことのできない生活基盤であり、その大切さを分かりやすく伝えることが必要。
- 生物多様性の現状を把握したうえで、その保全や絶滅危惧種の保護等を効果的に実施することが重要。
- 国家戦略にある「ネイチャーポジティブ」の実現に向け、県として貢献できるような目標設定が必要。

主なご意見 ⑦

その他 富山県の将来像について

- ・ 県民や事業者にとって納得感があり共感できる県全体の10年後の将来像を示すことが重要。
- ・ 将来像の実現に向け、現状を把握し、課題を深掘りしたうえで、実効性ある効果的な施策を盛り込むことが必要。
- ・ 人口減少を不安に感じる県民も多く、そうした不安を和らげ、ワクワクできる富山県らしい計画とすることが必要。

〈未来共創セッションにおいて県民の皆さんが思い描く10年後の富山〉

- ・ 自動運転の導入、ドローンを活用した物流、AIやロボットを活用し、便利で豊かに暮らしている。
- ・ 雄大な自然や美しい田園風景、美味しい水、多彩な祭りや伝統文化が継承・発展している。
- ・ こどもの成長を社会全体で支え合い、こどもが笑顔で夢を育んでいる。
- ・ 地域でお互いに助け合いながら、住み慣れた地域で安全で健やかに暮らしている。
- ・ 外国人も共に地域で暮らす一員となり、お互いに尊重しながら安心して暮らしている。
- ・ 人間関係が適度に保たれた「ゆるやかなコミュニティ」の中で、住民、移住者等が自分らしく活躍している。
- ・ 富山の魅力が広く知られ、県内外から若者が集まり、まちや地域が賑わっている。
- ・ スタートアップやイノベーションが生まれ、地域に根差した新しい産業・ビジネスが成長している。
- ・ 働き方改革や意識変革が進み、様々な分野で女性が自分らしくいきいきと活躍している。
- ・ AI等の活用により、農林水産業の生産性が向上し、こどもも憧れる産業になっている。